



『えどがわABA基礎講座 ①』

支援プランや教材作成に！ スモールステップ構築ワーク

江戸川区発達相談・支援センター主催

センターの概要



アイスブレイク

- ①呼んで欲しい名前
- ②「私、こう見えて、〇〇なんです！」



えどがわABA基礎講座とは？

- ・ 事業者同士で交流しながら、困った行動の分析や、適切な行動の習得支援の基礎を学べる全3回のオンライン開催の連続講座
- ・ 応用行動分析(ABA)に基づく「実践」ノウハウを学ぶ
- ・ 豊富な事例や映像、ロールプレイやワークを中心に学ぶ
- ・ 3講座全て受講された場合、センターより基本講座受講修了証を発行
- ・ 同意を頂いた方は、当センターHPにてお名前やご所属を公開
- ・ 修了者は実践的な発展講座（12月～3月予定）を受講できます

地域の支援者間で
共通言語をもつ

初級ABAセラピスト認定研修 RISTEX



- 仮認定テストに合格後、計12回（約1年間）は事例検討やフォローアップ研修を義務付け
- 仮認定1年を経て本認定後は更新制
- HPIにて認定者リストを公開

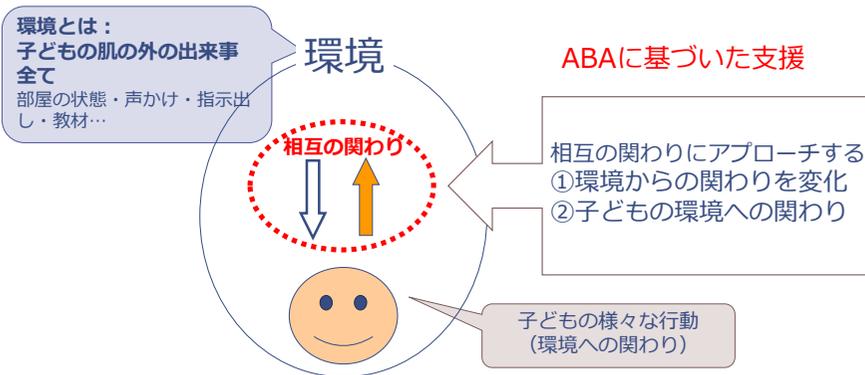
本日の達成目標は3つ

- ① ABAの考え方「3つの箱」を説明できる
- ② エラーレス学習のメリットを説明できる
- ③ スモールステップを組み立てられる

1.ABAの基本 「3つの箱」を理解する

応用行動分析学（ABA）とは

- 行動の法則性を明らかにする基礎学問「行動分析学」から派生した心理学
- Applied Behavior Analysis(ABA)
- 行動の原因を「個人の心の中」でなく、「個人と環境の関わり」に求める。



科学的根拠（エビデンス）に基づいた 発達支援を実践する

ABAは
必修科目

(1) 保護者の療育への適切な関わりを支援すること

(Roberts et al., 2011; Lovaas, 1987; Osborne et al., 2008)

(2) 応用行動分析に基づく集中性をもった個別かつ早期の介入

(Lovaas, 1987; Sallows & Graupner, 2005; Smith et al., 2000; Eldevik et al., 2006; Peters-Scheffer et al., 2010)

(3) 社会性や発達の観点を重視した療育プログラム (Koegel & Koegel, 2006; Dawson et al., 2010)

アメリカでは約40州で自閉症児
の療育として保険適応

Pearson(2007)
800 pages



ABAは
必修科目

One-year outcomes of low-intensity behavioral interventions among Japanese preschoolers with autism spectrum disorders: Community-based study(2020)

Hideyuki Haraguchia, Honami Yamaguchib, Atsuko Miyakec, Yoshiyuki Tachibanad, Andrew Stickleya,e, Mari Horiguchif, Masahiko Inoueg, Fumiyuki Noroh, Yoko Kamio

- 低密度ABA(平均週5.5時間)と非行動的折衷的介入の比較
- 低密度ABA群の方が言語と社会的発達の伸びが大きい
- 個別の療育時間は言語とコミュニケーションスキルの伸びと関連する
- たとえ低密度でもABAの実装が有用である可能性が示唆

子どもの「こころ」のとらえ方

こじん攻撃の
ワナ



おこりっぽい性
格？

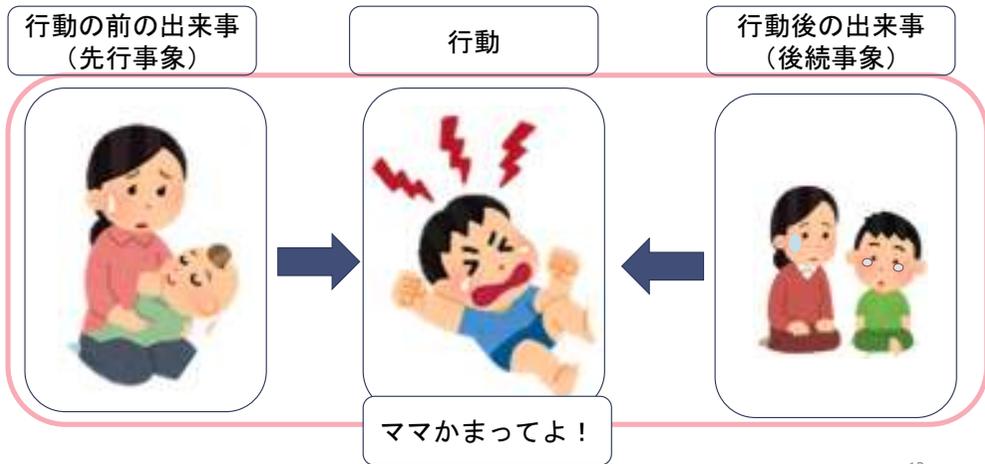
さびしいのかな？

いじわるしてる？

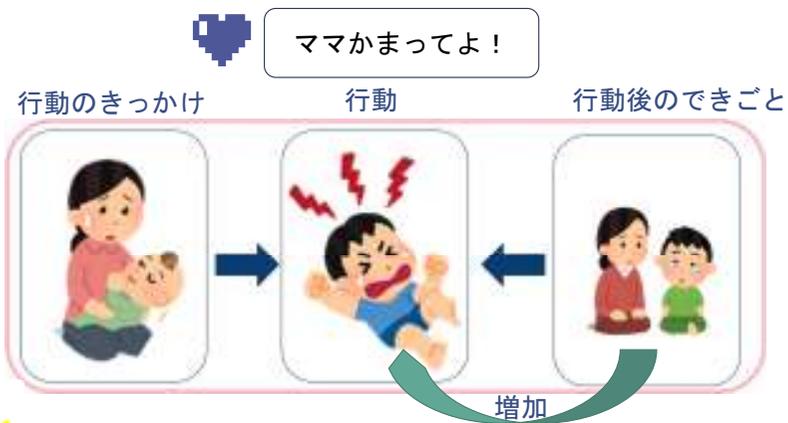
笑うから嬉しいのか、嬉しいから笑うのか？

ABAの基本 3つの箱

行動の前後を分析しところを「みえる化」する

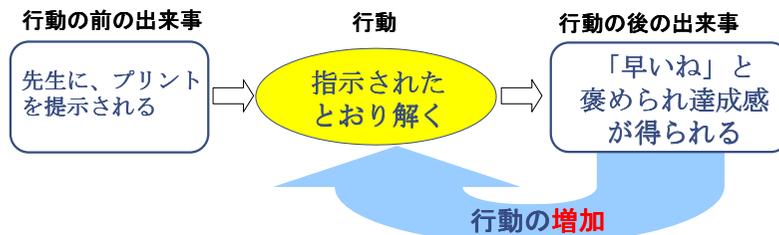


こころを「3つの箱」でかんがえる 3項随伴性



注意 行動の「形態」にとらわれてはいけない⇔「機能（働き）」が重要

3つの箱で行動を理解する「ほめるは科学」



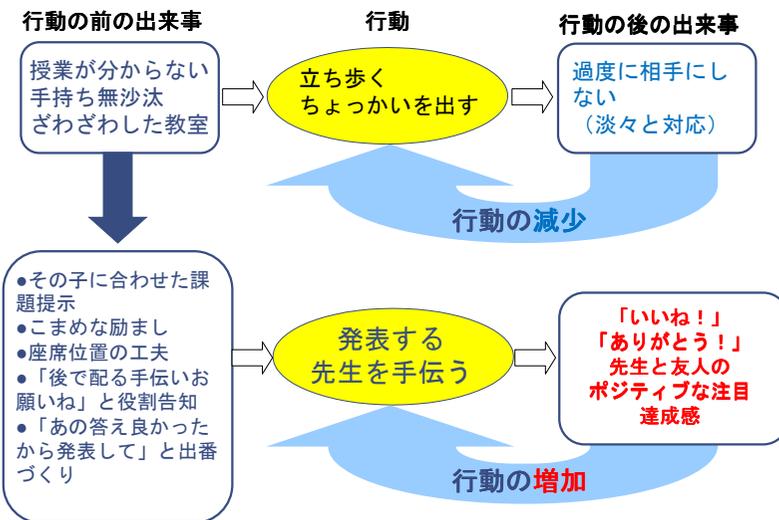
行動の法則性を明らかにする心理学の一分野「応用行動分析学」

行動の前に、行動を起こすきっかけがあり、行動を起こした結果、良いことが起きると、直前の行動が増加する

叱責や一貫性の無い対応は困った行動を増やす



望ましい行動を引き出すチャンスに！



お子さんの行動

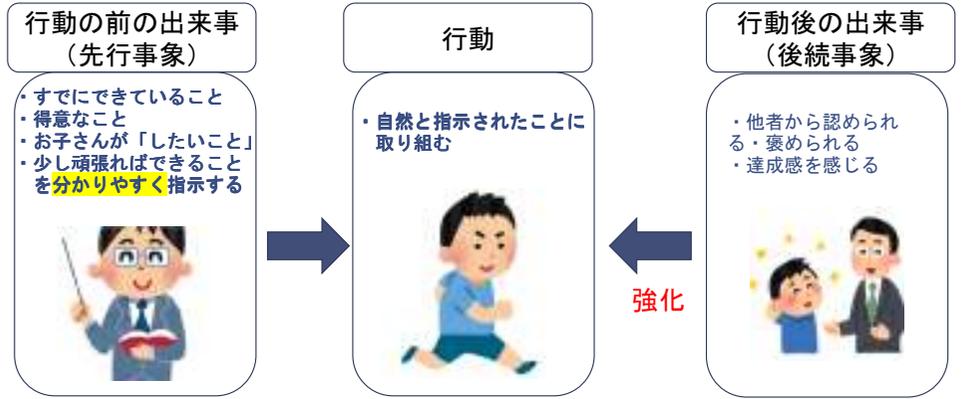


早期により相互関係を積み上げることは社会への安心・信頼感

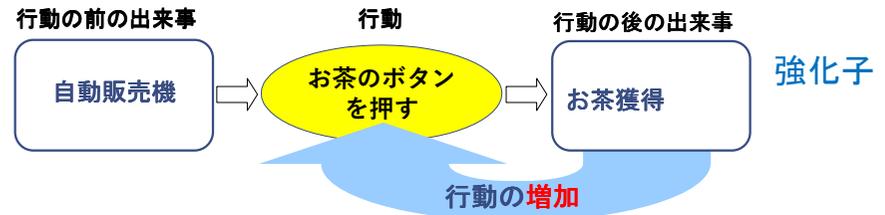
大人の行動



他者とのよい相互関係を確実に積み上げる＝指示を聞ける状態へのスモールステップ

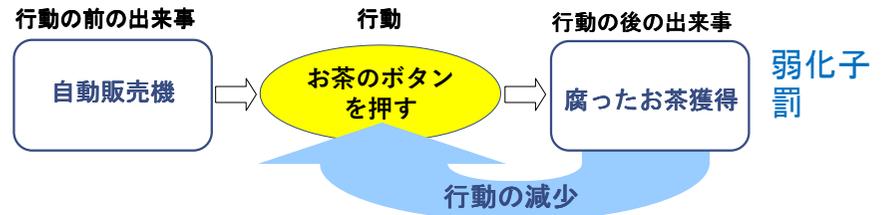


基本の用語の理解



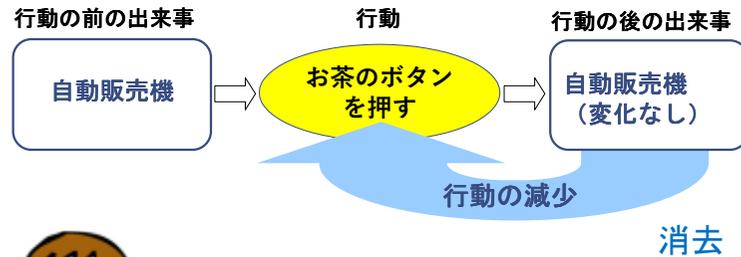
強化：ある行動のあと、よいことが起きた結果、その行動が増加すること
 強化子：行動を増加させるもの

なぜ「ほめる」ことが大切か



弱化：ある行動のあと、嫌悪的なことが起きた結果、その行動が減少すること
 弱化子（罰、罰子）：行動を減少させるもの

なぜ「ほめる」ことが大切か

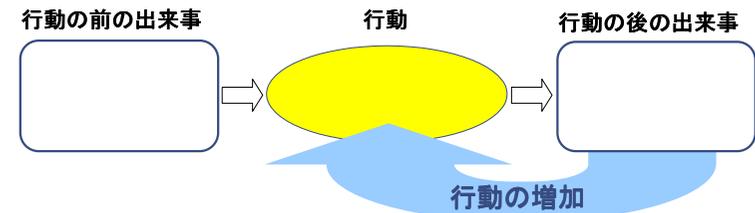


消去：ある行動の前後で、何も変化が起きなかった結果、その行動が減少すること
(無視ではない)

21

この事例を3項随伴性で説明してみましょう

あやちゃんは、最近よく自分の手を噛むので、手はいつもケガだらけでお母さんはとても困っています。昨日も、ご飯の時間なので、あやちゃんのお気に入りのおもちゃを棚に片付けたとき、自分の手を噛んで騒ぎました。仕方なくおもちゃを返し、おもちゃを持ったままご飯にしました。こういうことが多く、噛んだときは無理強いせず欲しいものをあげて、静かにさせているのですが、なかなか手を噛む行動が減らないので困っています。



2. エラーレス & スモールステップの重要性

エラーレスラーニング（無誤学習）

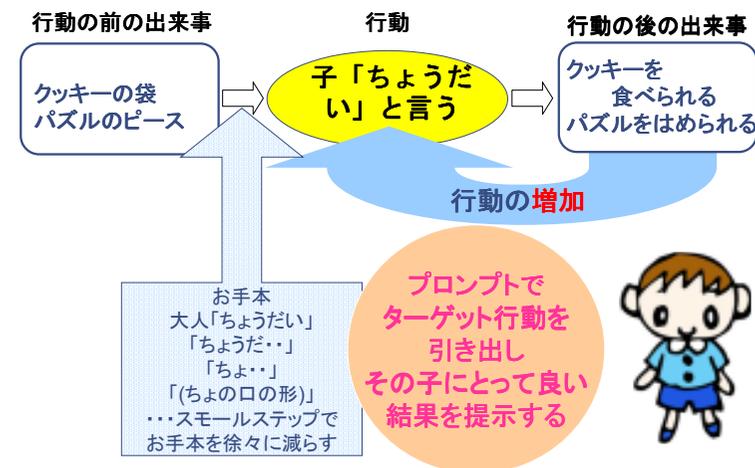
- 発達障害のあるお子さんの療育や、記憶障害の患者さんなどへのリハビリテーション分野など、幅広く活用。
 - 「学び手は常に正しい」= 応用行動分析学という心理学の基本的なスタンス
 - 「子どもの成功体験をデザインする」
 - 新しいことや苦手なことにチャレンジする場合もこまめに成功体験を積んで、達成感を感じることができる
- ✓一人でも出来たかのようなさりげない手助けを行う
✓できた場合にはしっかりと褒めてあげることです。



エラーレスラーニング

- <https://youtu.be/fvucnhcXYtk>
(フロリダ工科大学の自閉症支援センターHPより)

スモールステップ & エラーレスな発達支援



26

子どもの特性に合わせた課題の設定

教えても教えてもできない・・・

指導のテクニック < 標的行動の選定

多少教え方が洗練されていなくても、標的行動がお子さんの発達段階にそった最適なものであることが重要

標的行動を選定する時の注意点

- ①QOLの向上に貢献できる可能性があるか
- ②行動のパーツはそろっているか
- ③本人の得意/好きなことと関連があるか

✖ 未習得の行動が複数入っている

✖ 最初から目標が高すぎる

行動のパーツはそろっているか



選択の指さしを
教えたい！

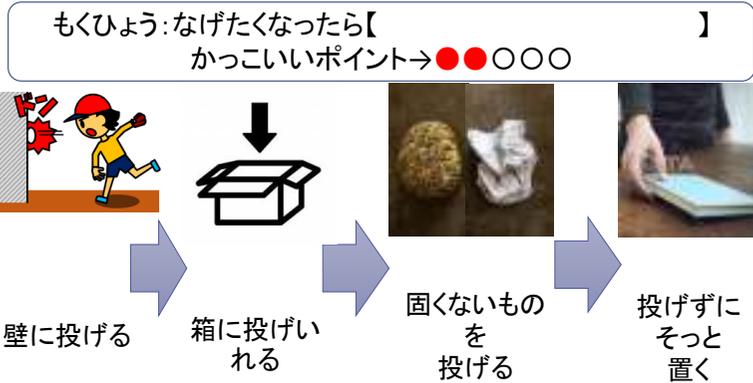
- ✓そもそも要求したい物は明確か？
物や活動への動機づけを育てる・探す
- ✓指さしの形はつくれるか？
指をさすという運動反応の確認
- ✓選択反応自体はあるか？
欲しいものに手を伸ばしたり奪い取ったりする行動はあるか？

3.スモールステップの事例 を知ろう



行動問題の置き換えスモールステップ

○多動性・衝動性が高いお子さん。言語面の知的機能が高い。
→事前の言語ルール提示とロールプレイを实践
→スモールステップで困った行動の置き換え支援を実施



集団参加のスモールステップ

集団参加は、スモールステップで無理なく、楽しく促す
(集団=嫌悪的にならないように)



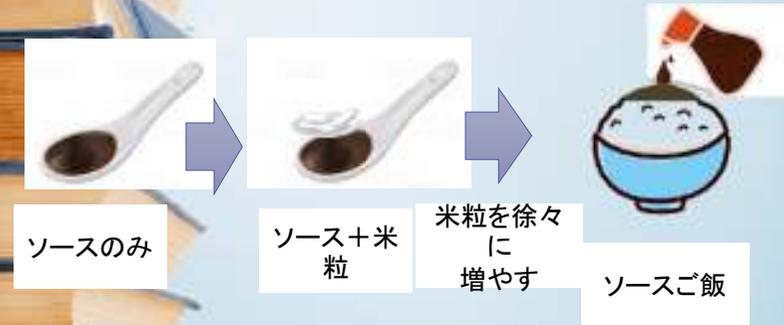
成人期を見据えた支援

自己統制（セルフコントロール）も、早期から少しずつ教える
待てば、良いことが起きる経験を積み重ねていく



子どもに合わせたアプローチの例②

- 毎日通園でお昼ご飯を食べる
→ご家庭では食べられている白いご飯と、好きなソースを活用



指導例：遊びのsmallステップ化

- ①止まっている大人からしっぽをとったら強化
- ②動いている大人からしっぽをとったら強化
- ③しっぽを付けている大人を探して取れたら強化
- ④子ども同士でしっぽをつけ、相手のしっぽを取れたら強化

楽しい活動＋お友達のペアリング

スモールステップ分析ワーク

Copyright 2014 ADDS. All rights reserved.

出来ていることを探す＝
期待する姿を細分化する(スモールステップ)

-鬼ごっこに参加する

-じゃんけんに参加する
-全体的に逃げ回る
-鬼に追われたらよける
-タッチされたら鬼になる
-友達を追いかける
-友達にタッチする



お子さんに、教えたいたことがありますか？

例えば・・・

そろそろ靴下を自分で履けるようにならないかな？



一口に「靴下をはく」と言っても・・・

①靴下を持つ



②入口を開く



③つま先を入れる



⑤引っ張り上げる



④かかとを入れる



例題

- https://www.dropbox.com/s/v4cvmi660t6ic10/kadai008_minomawari_FINAL_ver.2.mp4?dl=0 くつした
- https://www.dropbox.com/s/epa4evfkzliybl/kadai003_countdown_FINAL_ver.1.mp4?dl=0 カウントダウン

気候が暑くなってくると、4歳の息子はいつもサンダルを履きたがります。運動靴は一人では履けません。サンダルは自分で履けるので、サンダルでもいいかと思っていましたが、学校にはサンダルで行かれないので、一人で運動靴も履けるようになってほしいです。現状は、運動靴を履くことは拒みませんが、自分で履く気は起きないようで、靴を私に渡してくるか、靴を置いたまま「やって！」と言って待っています。最後に運動靴のマジックテープだけは触りますが、促されて触る程度です。一人で履けるようになるには、どうやって教えれば良いのでしょうか？



上手な教え方ワークシート

日付：(/ /) 記録者：()

今困った行動がある場合のみ記入！

●目標の行動
(新しくできるようになるといいこと or 困った行動がある場合は、それに替わる適切な行動)
つま先、かかとを入れて、マジックテープを貼る

スモールステップ

<step3>

<step2>

<step1>今ある、目標の行動に一番近い行動

環境や道具の工夫 手助けの仕方

行動は具体的に！

× 良くない例：
 「～しない」
 ◎ 良い例：
 「(～しないで)～する」

上手な教え方ワークシート

日付：(/ /) 記録者：()

今困った行動がある場合のみ記入！

●目標の行動
(新しくできるようになるといいこと or 困った行動がある場合は、それに替わる適切な行動)
つま先、かかとを入れて、マジックテープを貼る

スモールステップ

<step3> **かかとを入れて、マジックテープを貼る**

<step2> **マジックテープを自分で貼る**

<step1>今ある、目標の行動に一番近い行動

マジックテープを触る

環境や道具の工夫 手助けの仕方

↑
目標を細かく

達成規準を明確に！

例：
 それぞれプロンプトなしでも3回以上できたら、次のステップへ

上手な教え方ワークシート

日付：(/ /) 記録者：()

今困った行動がある場合のみ記入！

●目標の行動
(新しくできるようになるといいことor 困った行動がある場合は、それに替わる適切な行動)

つま先、かかとを入れて、マジックテープを貼る

スモールステップ

<step3>
かかとを入れて、マジックテープを貼る

<step2>
マジックテープを自分で貼る

<step1>今ある、目標の行動に一番近い行動
マジックテープを触る

環境や道具の工夫
・サンダルは置かない
・大きめの靴で練習
・好きなキャラクターの靴
・はけたら公園へ行く

手助けの仕方

- ・気になるものは片付ける
- ・目で見て分かりやすい工夫
- ・見通しを立てる など

上手な教え方ワークシート

日付：(/ /) 記録者：()

今困った行動がある場合のみ記入！

●目標の行動
(新しくできるようになるといいことor 困った行動がある場合は、それに替わる適切な行動)

つま先、かかとを入れて、マジックテープを貼る

スモールステップ

<step3>
かかとを入れて、マジックテープを貼る

<step2>
マジックテープを自分で貼る

<step1>今ある、目標の行動に一番近い行動
マジックテープを触る

環境や道具の工夫
・サンダルは置かない
・大きめの靴で練習
・好きなキャラクターの靴
・はけたら公園へ行く

手助けの仕方
・手添えて一緒にやる
・「ぎゅー」「べったん」などの声掛け

- ・黒子のようにさりげなく
- ・子どもが「自分でできた」と感じられるように
(プロンプトの種類)
身体プロンプト
指差しプロンプト
音声プロンプト など

上手な教え方ワークシート

日付：(/ /) 記録者：()

今困った行動がある場合のみ記入！

●目標の行動
(新しくできるようになるといいことor 困った行動がある場合は、それに替わる適切な行動)

つま先、かかとを入れて、マジックテープを貼る

スモールステップ

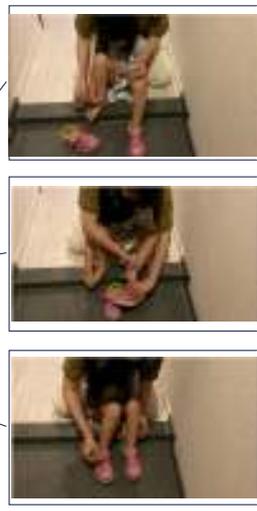
<step3>
かかとを入れて、マジックテープを貼る

<step2>
マジックテープを自分で貼る

<step1>今ある、目標の行動に一番近い行動
マジックテープを触る

環境や道具の工夫
・サンダルは置かない
・大きめの靴で練習
・好きなキャラクターの靴
・はけたら公園へ行く

手助けの仕方
・手を添えて一緒にやる
・「ぎゅー」「べったん」などの声掛け



現在出来ている行動と標的行動の間を埋めるには

例：少しずつ言葉は出てきたんだけど、やりとりにつながらないんです・・・
要求の時は手で物を取ろうとします

出来ている事：音声模倣であれば1語でちょうだいということは出来る

- STEP1：音声だけで「ちょうだい」というお手本を真似する
- STEP1：好きなものを前に、「ちょうだい」というお手本を真似する
- STEP2：「ちょうだ・・・」というお手本を真似する
- STEP3：「ちょ・・・」というお手本を真似する
- STEP4：(ちょ・・・)という口の形だけ見て頂戴という
- STEP5：お手本無しで頂戴という

ターゲット行動：何かしてほしいときに、頂戴と要求する

強化子(ご褒美)：パズルが好きなので活用。クッキーなどおやつ時間も実施する。

その他の工夫：手が届かないけど見える場所に、強化子を見せるよう気を付ける。

現在出来ている行動と標的行動の間を埋めるには

例：とにかく待てないんです・・・好きなものを目にしたらすぐに手にしないと我慢ができなくて怒ります

出来ている事：まあまあ好きなおもちゃであれば一瞬待てる

- STEP1：まあまあ好きな物を見せながら、「待ってね」と言って、すぐ渡す
STEP1：まあまあ好きな物を見せながら、待ってね3, 2, 1,0と早口でカウントダウン
STEP2：まあまあ好きな物を見せながら、待ってね、と5秒カウントダウン
STEP3：まあまあ好きな物を見せながら、待ってね、と10秒カウントダウン
STEP4：すごく好きな物を見せながら、待ってね、と3秒カウントダウン
STEP5：すごく好きな物を見せながら、待ってね、と10秒カウントダウン

ターゲット行動：何かしてほしいときに、頂戴と要求する

強化子（ご褒美）：基本はおもちゃだが、すごく好きな物の時は+アルファでお草子などキヤットや指輪

その他の工夫：すごく好きなものは、起こりそうになったら早口で数えてすぐに渡す（アラレス）

Copyright 2014 ADDS. All rights reserved.

現在出来ている行動と標的行動の間を埋めるには

例：おやつやごはんの前にお片づけと言われても、無視して食べ始めてしまう

出来ている事：指させば、1つのおもちゃを箱に入れることはできる

ターゲット行動：お片づけと言われていたら使っていたおもちゃを全部箱に入れる

強化子（ご褒美）：

その他の工夫：

Copyright 2014 ADDS. All rights reserved.

現在出来ている行動と標的行動の間を埋めるには

例：そろそろ一人でフォークで食べられるようになってほしいんです。いまは受け身でひたすら待っています

出来ている事：食べ物をさしたフォークを手に渡してあげれば、口に運ぶことができる

ターゲット行動：自分で食べ物をフォークでさして口に運ぶ

強化子（ご褒美）：

その他の工夫：

Copyright 2014 ADDS. All rights reserved.

補足：色々あるスモールステップの区切り方

- 難易度（易→難）
- 量（少ない→多い）
- 最初から順に教える（最初少しだけやらせる→最後までやらせる）
- ゴールから徐々に遡る（最後の手順だけやらせる→始めから全部やらせる）
★子どもが達成感を得やすい
- 時間（短い→長い）
- 場所（いつもの場所→はじめての場所）
- 距離（短い→長い）
- 人（大人→子ども／少人数→大人数／両親→先生）
- 手助けの量（手助け多め→手助けなし）
- 手助けの種類（身体ガイド→お手本を示す→指さす→言葉or視覚的な補助）



スモールステップ教材の作成ポイント

- ・好き/得意なこと
- ・できること(持っている行動レパートリー)
- ・常同性やこだわり
- ・感覚特性

を手助けヒントとして「仕込む」→徐々に減らすイメージで作成

できている行動を活用する

- 「物の名前の理解」が（通常の指導手順では）なかなか獲得できない...
→その子が注目しやすい刺激からの立ち上げ（動画カード）

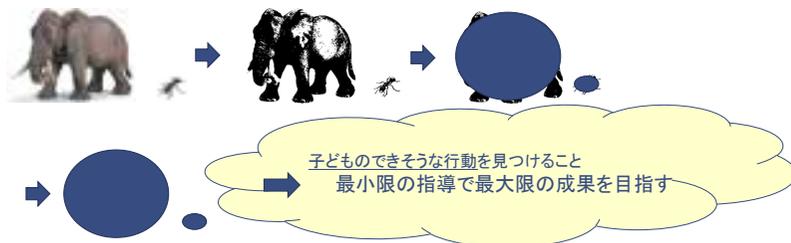


パワパワワワッップパワーワ
♪
ちょうだい

スモールステップ教材の作成ポイント

- 「大きい」「小さい」の理解がなかなかできない...
→具体物から抽象的な概念へ

- ① 掛け声「大きい?」→子「ゾウ」 / 「小さい?」→子「アリ」
- ② 「大きい」→子（ゾウを選ぶ）・「小さい」→子（アリを選ぶ）
- ③ 徐々に教材を抽象化



アカデミックスキル～平仮名読み～



かめのか!
ちょうだい

かめのか!
ちょうだい

か!
ちょうだい

数字かるた（イラストのフェーディング）



教材作成ワーク



- ・赤、黄色、緑の色カードの受容訓練をしても、2カ月以上正答率が安定しない・・・
- ・課題を嫌がるようになってしまった
- ・名詞を聞いて選ぶ行動は習得済み
- ・食べ物が好きで、色々と知っている

教材作成ワーク



- ・数の概念（3個まで）を理解してほしい
- ・数字は分からないが、「いち」などという指を作ることはできる 1-3

教材作成ワーク



- ・2つの物を命名する課題「○と○」
- ・絵カードの命名は得意
- ・音声で手本を示しても、模倣が出にくく、「○、○」になる
- ・視覚的な刺激の理解や反応は得意

まとめ

スモールステップ&エラーレスの考え方は・・・

日常場面で
生活スキル
を教える

問題行動に
置き換わる
適切な行動
を教える

認知・コ
ミュニケー
ションスキ
ルを教える



こんなと
きに有効
です！

メリット

✓子どもに「どのようなことが出来るようになって欲しいのか?」、そのために「何を教える必要があるのか?」を、指導者が整理して把握することができる。

✓子どもが**つまづいているポイント**が明確になり、効率的な指導ができる。

✓子どもが**小さな達成感**を積み重ねたり、大人が**褒める機会**をたくさん設定できる。

61

本日の達成目標を確認！

①ABAの考え方「3つの箱」を説明できる

- ・3つの箱はそれぞれ何が入りますか？
- ・なぜ褒めることが大切なのか？
- ・強化、弱化、消去とはなんですか？

②エラーレスやスモールステップのメリットを説明できる

- ・メリットは何ですか？

③スモールステップを組み立てられる

- ・「じゃんけん」をスモールステップに分解して考えてみましょう！